



## PRESS RELEASE (2018/04/04)

九州大学記者クラブ会員 各位

### 梶田隆章東京大学教授（ノーベル物理学賞受賞者）講演会の開催について

本学は、平成17（2005）年度の工学系の伊都地区移転開始から、平成27（2015）年度には理学系の移転を終え、平成30（2018）年度には人文社会系、農学系の移転が完了します。

このたび、「伊都キャンパス完成記念事業」の一環として、平成27（2015）年にノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章 教授（東京大学 宇宙線研究所長）の講演会を下記のとおり開催することになりました。

については、別添のとおりパンフレット、ポスターを準備しましたので、ご多用中のところ誠に恐縮に存じますが、ポスター掲示等により周知いただくとともに、多数ご参加いただきますよう御案内申し上げます。

#### 記

日 時：平成30年4月15日（日）13時00分～14時30分  
会 場：九州大学椎木講堂コンサートホール（伊都キャンパス）  
福岡市西区元岡 744  
定 員：1,000名 程度  
申 込：不 要  
入 場 料：無 料  
駐 車 場：無料駐車場あり

講演内容： 岐阜県神岡の地下では、1983 年以来ニュートリノ研究が行われてきました。また、現在は重力波の観測を目指す KAGRA の建設も進んでいます。この講演では、スーパーカミオカンデでのニュートリノの小さい質量の発見やその後の研究、そして、その意義と今後期待される KAGRA による重力波の観測と重力波を通して調べる宇宙について、ノーベル物理学賞受賞者の梶田隆章教授が解説されます。

担 当	理学部等事務長補佐 盆子原（いちごはら）
電 話	（092）802—4002

伊都キャンパス完成記念事業



伊都キャンパス完成  
2018年9月

# 神岡の探宇宙と 地下から見る素粒子

— ニュートリノと重力波 —

## 梶田 隆章氏 講演会

2018年 4月15日(日)

13:00~

入場無料

申込不要

九州大学伊都キャンパス椎木講堂

地中から見えてきた宇宙

主催 九州大学先端素粒子物理研究センター 共催 九州大学高等研究院  
提供：東京大学宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設

岐阜県神岡の地下では、1983年以来  
ニュートリノ研究が行われてきました。

また現在は重力波の観測を目指す

KAGRAの建設も進んでいます。

この講演では、スーパーカミオカンデでの  
ニュートリノの小さい質量の発見やその後の研究、  
そしてその意義についてお話しします。

また今後期待されるKAGRAによる重力波の観測と、  
重力波を通して調べる宇宙についてお話しします。



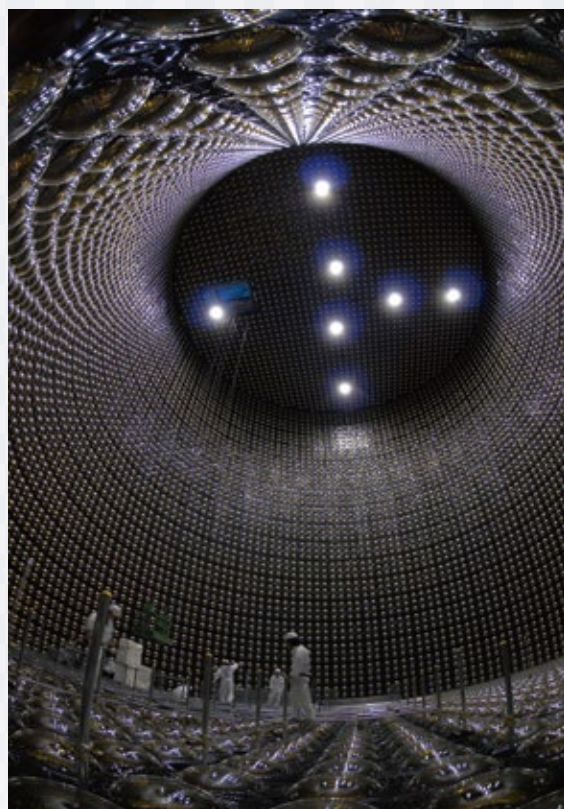
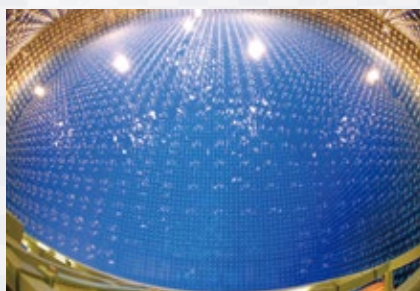
## 梶田 隆章 Takaaki Kajita

1959年、埼玉県東松山市生まれ。物理学者。東京大学卓越教授・特別荣誉教授、東京大学宇宙線研究所長。東京大学理学部附属素粒子物理国際研究センター助手、東京大学宇宙線研究所助手、助教授、教授を経て現職。岐阜県飛騨市の神岡鉱山の地下1000メートルに設置された実験装置「カミオカンデ」と「スーパーカミオカンデ」を使った実験に参加した。最も小さいと考えられる素粒子のひとつのニュートリノについて、地球の大気で生まれた大気

ニュートリノを観測。移動中に粒の種類が変わる現象「ニュートリノ振動」を観測してニュートリノに質量があることを発見し、1998年の国際会議で発表した。「ニュートリノ質量の存在を示すニュートリノ振動の発見」により、2015年にノーベル物理学賞を受賞した。1999年に仁科記念賞、2010年に戸塚洋二賞、2012年に日本学士院賞、2015年に文化勲章受章、文化功労者。現在は、大型低温重力波望遠鏡KAGRAのリーダーも務める。

梶田 隆章氏  
講演会プログラム

- ・総長挨拶
- ・センター長挨拶
- ・講演



提供：東京大学宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設

問い合わせ先

九州大学 理学部等事務部 庶務係/学術企画係

〒819-0395  
福岡市西区元岡744

TEL 092-802-4003/092-802-4006

mail

rissyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp  
rixgakuki@jimu.kyushu-u.ac.jp

2018年

4月15日(日)

九州大学伊都キャンパス 椎木講堂

13:00~

岐阜県神岡の地下では、

1983年以来ニュートリノ研究が行われてきました。

また現在は重力波の観測を目指す

KAGRAの建設も進んでいます。

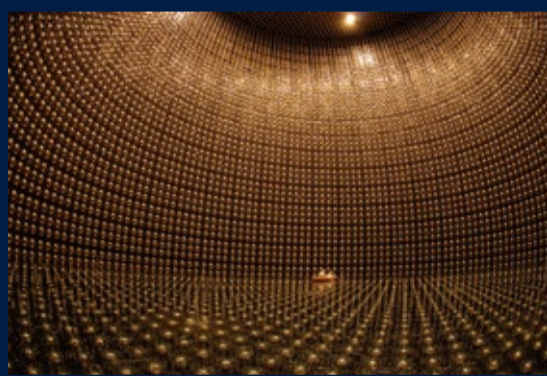
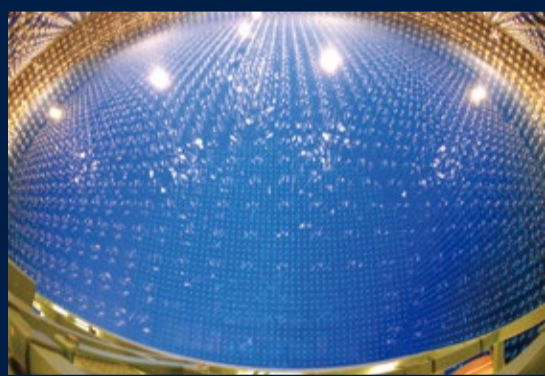
この講演では、スーパーカミオカンデでの

ニュートリノの小さい質量の発見やその後の研究、

そしてその意義についてお話しします。

また今後期待されるKAGRAによる重力波の観測と、

重力波を通して調べる宇宙についてお話しします。



提供：東京大学宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設

梶田 隆章

Takaaki Kajita

1959年、埼玉県東松山市生まれ。物理学者。東京大学卓越教授・特別荣誉教授、東京大学宇宙線研究所長。東京大学理学部附属素粒子物理国際研究センター助手、東京大学宇宙線研究所助手、助教、教授を経て現職。岐阜県飛騨市の神岡鉱山の地下1000メートルに設置された実験装置「カミオカンデ」と「スーパーカミオカンデ」を使った実験に参加した。最も小さいと考えられる素粒子のひとつのニュートリノについて、地球の大気で生まれた大気ニュートリノを観測。移動中に粒の種類が変わる現象「ニュートリノ振動」を観測してニュートリノに質量があることを発見し、1998年の国際会議で発表した。「ニュートリノ振動」により、2015年にノーベル物理学賞を受賞した。1999年に仁科記念賞、2010年に戸塚洋二賞、2012年に日本学士院賞、2015年に文化勲章受章、文化功労者。現在は、大型低温重力波望遠鏡KAGRAのリーダーも務める。



# 梶田 隆章氏 講演会

神岡の地下から探る宇宙と素粒子

「ニュートリノと重力波」

主催 九州大学先端素粒子物理研究センター 共催 九州大学高等研究院

問い合わせ先

九州大学 理学部等事務部 庶務係/学術企画係  
〒819-0395 福岡市西区元岡744

TEL 092-802-4003/092-802-4006 mail rissyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp  
rixgakuki@jimu.kyushu-u.ac.jp



伊都キャンパス完成  
2018年9月